

対象校No.  
注4学校コード F140310110767  
注3

設置年度 令和 6 年度

計画の区分： 学部の学科の設置  
注1

届出

注2

日本経済大学 経営学部 デジタルビジネス・マネジメント学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書  
(改正後大学設置基準適用)学校法人 都築育英学園  
令和7年5月1日現在

## 作成担当者

担当部局(課)名	経営学部 東京渋谷キャンパス
職名・氏名	ワイエイカクフショウ アカセトモヒデ 経営学部長・赤瀬朋秀
電話番号	03-3463-4115
(夜間)	090-3434-0386
e-mail	t-akase@tk.jue.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科  
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・大学の設置の場合：「〇〇大学」  
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」  
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」  
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。  
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、該当番号を記載してください。

# 目次

## 経営学部

<デジタルビジネス・マネジメント学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	6
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教育研究実施組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	29
7. その他全般的事項	30

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 都築育英学園

## (2) 大学名

日本経済大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒150-0031

東京都渋谷区桜丘町24-5

(〒818-0197 福岡県太宰府市五条3-11-25)

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ツヅキ アスカ) 都築 明寿香 (平成19年11月)		
学長	(ツヅキ アスカ) 都築 明寿香 (平成19年11月)		
学部長	(アカセ トモヒデ) 赤瀬 朋秀 (平成28年4月)		
学科長等	(カナヤ タケアキ) 金谷 武明 (令和6年4月)		

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を

( )書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告する内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
  - ・ 様式は、令和2年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和7年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
経営学部 デジタルビジネス・ マネジメント学科 学士（経営学）	経済学関係	4 年	80 人	2年次 人	320 人		
	経済学関係			3年次 人			

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
  - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）又は（その2の2））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
  - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	80人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	80人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	春季入学以外 の入学時期と 入学定員内訳	倍	倍	
志願者数	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	33 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	93 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]				
受験者数	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	32 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	84 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]				
合格者数	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	20 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	46 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]				
B 入学者数	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	13 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	39 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]				
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	0.16	-	0.48	-				

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
  - ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなど、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ 転入学生は記入しないでください。
  - ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
  - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までで記入してください。
  - ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。）
  - ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
  - ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
  - ・ 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
  - ・ 「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	13 [ 2 ] ( )	— [ — ] ( )	39 [ 17 ] ( )	
2年次	/		— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	
3年次			/		— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )
4年次	/				— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )
計			[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	13 [ 2 ] ( )	[ ] ( )	39 [ 17 ] ( )

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ [ ]内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ ( )内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	10 人	3 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	3 人	0 人	修学意欲の低下(1名)、学生個人の心身に関する事情(2名)
令和7年度	39 人	0 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
			令和7年度	人	人	
合計		3 人		3 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例) ・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数 (a)}}{\text{令和2年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数 (a)}}{\text{令和3年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数 (a)}}{\text{令和4年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数 (a)}}{\text{令和5年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数 (a)}}{\text{令和6年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{3}{13} = \boxed{23.07} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数 (a)}}{\text{令和7年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{0}{39} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<経営学部 デジタルビジネスマネジメント学科>

(1) - ① 授業科目表

**【履修時又は履修時】**

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数	基幹教員等の配置						外の手を要する	
				必修	選択	自由	教員	准教授	講師		助教
基礎科目	英語 I A	1前	2							1	
	英語 I B	1後	2							1	
	英語 II A	1前	2				1				
	英語 II B	1後	2				1				
	英語 III A	1前	2					1			
	英語 III B	1後	2					1			
	英語 IV A	2前	2					1			
	英語 IV B	2後	2					1			
	ビジネスイングリッシュ I A	2前	2				1				
	ビジネスイングリッシュ I B	2後	2				1				
	ビジネスイングリッシュ II A	3前	2				1				
	ビジネスイングリッシュ II B	3後	2				1				
	韓国語 I A	1前	2		2					1	
	韓国語 I B	1後	2		2					1	
	韓国語 II A	2前	2		2					1	
	韓国語 II B	2後	2		2					1	
	中国語 I A	1前	2							1	
	中国語 I B	1後	2							1	
	中国語 II A	2前	2			1				1	
	中国語 II B	2後	2			1				1	
ドイツ語 I A	1前	2			1						
ドイツ語 I B	1後	2			1						
ドイツ語 II A	2前	2			1						
ドイツ語 II B	2後	2			1						
フランス語 I A	1前	2			1						
フランス語 I B	1後	2			1						
フランス語 II A	2前	2			1						
フランス語 II B	2後	2			1						
スペイン語 I A	1前	2							1		
スペイン語 I B	1後	2							1		
スペイン語 II A	2前	2							1		
スペイン語 II B	2後	2							1		
ロシア語 I A	1前	2							1		
ロシア語 I B	1後	2							1		
ロシア語 II A	2前	2							1		
ロシア語 II B	2後	2							1		
哲学 I	1前	2		1							
哲学 II	1後	2		1							
心のしくみと行動の科学	1前	2							1		
日本史 I	1前	2							1		
日本史 II	1後	2							1		
西洋史 I	1前	2							1		
西洋史 II	1後	2							1		
東洋史 I	1前	2							1		
東洋史 II	1後	2							1		
文学をよむ文化を知る	1後	2							1		
ビジネスライティング(文章表現)	1前	2			1						
倫理学 I	1前	2			1						
倫理学 II	1後	2			1						
地理学 I	1前	2							1		
地理学 II	1後	2							1		
社会学概論	1後	2			1						
政治学 I	1前	2							1		
政治学 II	1後	2							1		
くらしと法	1前	2				1					
日本国憲法	1後	2				1					
スポーツ論	1前	2			1						
文系のための数学	1前	2			1						
数学でよみとくビジネス	1後	2			1						
動植物の体のしくみ	1前	2							1		
環境と社会生活	1前	2				1					
ゾーリングメソッド(ビジネスキャリア)	1前	2			1						
情報リテラシー I (ビジネススキル)	1前	2					1		3		
情報リテラシー II (AI・データサイエンス)	1後	2					1		3		
情報リテラシー III (コンテンツ基礎)	2前	2					1		2		
情報リテラシー IV (コンテンツ応用)	2後	2					1		2		
健康科学	1前	2			1						
スポーツ	1前	2			1						
小計(68科目)	-	-	0	136	0	9	7	1	1	0	16
S.D.SeminarA	1前	2				1	1				
S.D.SeminarB	1後	2				1	1				
地域貢献 I	1後	2			1						
キャリアデザイン I A	1前	2								1	
キャリアデザイン I B	1後	2								1	
ROSE(海外研修) I	1前	2			1						
基礎ゼミA	2前	2			1		1				
基礎ゼミB	2後	2			1		1				
地域貢献 II	1後	2			1						
キャリアデザイン II A	2前	2			1						

**【令和7年度】**

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数	基幹教員等の配置						外の手を要する	
				必修	選択	自由	教員	准教授	講師		助教
基礎科目	英語 I A	1前	2								1
	英語 I B	1後	2								1
	英語 II A	1前	2								1
	英語 II B	1後	2								1
	英語 III A	1前	2						1		
	英語 III B	1後	2						1		
	英語 IV A	2前	2						1		
	英語 IV B	2後	2						1		
	ビジネスイングリッシュ I A	2前	2					1			
	ビジネスイングリッシュ I B	2後	2					1			
	ビジネスイングリッシュ II A	3前	2					1			
	ビジネスイングリッシュ II B	3後	2					1			
	韓国語 I A	1前	2		2						1
	韓国語 I B	1後	2		2						1
	韓国語 II A	2前	2		2						1
	韓国語 II B	2後	2		2						1
	中国語 I A	1前	2								1
	中国語 I B	1後	2								1
	中国語 II A	2前	2				1				1
	中国語 II B	2後	2				1				1
ドイツ語 I A	1前	2			1						
ドイツ語 I B	1後	2			1						
ドイツ語 II A	2前	2			1						
ドイツ語 II B	2後	2			1						
フランス語 I A	1前	2			1						
フランス語 I B	1後	2			1						
フランス語 II A	2前	2			1						
フランス語 II B	2後	2			1						
スペイン語 I A	1前	2								1	
スペイン語 I B	1後	2								1	
スペイン語 II A	2前	2								1	
スペイン語 II B	2後	2								1	
ロシア語 I A	1前	2								1	
ロシア語 I B	1後	2								1	
ロシア語 II A	2前	2								1	
ロシア語 II B	2後	2								1	
哲学 I	1前	2								1	
哲学 II	1後	2								1	
心のしくみと行動の科学	1前	2								1	
日本史 I	1前	2								1	
日本史 II	1後	2								1	
西洋史 I	1前	2								1	
西洋史 II	1後	2								1	
東洋史 I	1前	2								1	
東洋史 II	1後	2								1	
文学をよむ文化を知る	1後	2								1	
ビジネスライティング(文章表現)	1前	2						1			
倫理学 I	1前	2								1	
倫理学 II	1後	2								1	
地理学 I	1前	2								1	
地理学 II	1後	2								1	
社会学概論	1後	2				1					
政治学 I	1前	2								1	
政治学 II	1後	2								1	
くらしと法	1前	2					1				
日本国憲法	1後	2					1				
スポーツ論	1前	2								1	
文系のための数学	1前	2				1					
数学でよみとくビジネス	1後	2				1					
動植物の体のしくみ	1前	2						1			
環境と社会生活	1前	2								1	
ゾーリングメソッド(ビジネスキャリア)	1前	2				1					
情報リテラシー I (ビジネススキル)	1前	2					1			1	
情報リテラシー II (AI・データサイエンス)	1後	2					1			1	
情報リテラシー III (コンテンツ基礎)	2前	2					1			1	
情報リテラシー IV (コンテンツ応用)	2後	2					1			1	
健康科学	1前	2				1					
スポーツ	1前	2								1	
小計(68科目)	-	-	0	136	0	8	4	3	0	0	16
S.D.SeminarA	1前	2				1					
S.D.SeminarB	1後	2				1					
地域貢献 I	1後	2			1						
キャリアデザイン I A	1前	2								1	
キャリアデザイン I B	1後	2								1	
ROSE(海外研修) I	1前	2			1						
基礎ゼミA	2前	2			1						
基礎ゼミB	2後	2			1						
地域貢献 II	1後	2			1						
キャリアデザイン II A	2前	2			1						



【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	記号 年次	単位数	基幹教員等の配置						一 部 手 を 担 う 教 員		
				主 要 授 業 科 目	必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授		講 師	助 教
基礎科目 語学系	英語 I A	1前	2								1	
	英語 I B	1後	2								1	
	英語 II A	1前	2									
	英語 II B	1後	2									
	英語 III A	1前	2									
	英語 III B	1後	2									
	英語 IV A	2前	2									
	英語 IV B	2後	2									
	ビジネスイングリッシュ I A	2前	2									
	ビジネスイングリッシュ I B	2後	2									
	ビジネスイングリッシュ II A	3前	2									
	ビジネスイングリッシュ II B	3後	2									
	韓国語 I A	1前	2								1	
	韓国語 I B	1後	2								1	
	韓国語 II A	2前	2								1	
	韓国語 II B	2後	2								1	
	中国語 I A	1前	2								1	
	中国語 I B	1後	2								1	
	中国語 II A	2前	2								1	
	中国語 II B	2後	2								1	
	ドイツ語 I A	1前	2								1	
	ドイツ語 I B	1後	2								1	
	ドイツ語 II A	2前	2								1	
	ドイツ語 II B	2後	2								1	
	フランス語 I A	1前	2									
	フランス語 I B	1後	2									
	フランス語 II A	2前	2									
	フランス語 II B	2後	2									
	スペイン語 I A	1前	2								1	
	スペイン語 I B	1後	2								1	
	スペイン語 II A	2前	2								1	
	スペイン語 II B	2後	2								1	
	ロシア語 I A	1前	2								1	
	ロシア語 I B	1後	2								1	
	ロシア語 II A	2前	2								1	
	ロシア語 II B	2後	2								1	
	基礎科目 教養科目	哲学 I	1前	2								1
		哲学 II	1後	2								1
		心のしくみと行動の科学	1前	2								1
		日本史 I	1前	2								1
日本史 II		1後	2								1	
西洋史 I		1前	2								1	
西洋史 II		1後	2								1	
東洋史 I		1前	2								1	
東洋史 II		1後	2								1	
文学をよむ文化を知る		1後	2								1	
ビジネスライティング(文章表現)		1前	2								1	
倫理学 I		1前	2								1	
倫理学 II		1後	2								1	
地理学 I		1前	2								1	
地理学 II		1後	2								1	
社会学概論		1後	2								1	
政治学 I		1前	2								1	
政治学 II		1後	2								1	
くらしと法		1前	2								1	
日本国憲法		1後	2								1	
スポーツ論		1前	2								1	
文系のための数学		1前	2								1	
数学でよみとビジネス		1後	2								1	
動植物の体のしくみ	1前	2								1		
環境と社会生活	1前	2								1		
グローバルメディアコミュニケーション	1前	2								1		
情報リテラシー I (ビジネススキル)	1前	2								1		
情報リテラシー II (ITスキル)	1後	2								1		
情報リテラシー III (コンテンツ基礎)	2前	2								1		
情報リテラシー IV (コンテンツ応用)	2後	2								1		
健康科学	1前	2								1		
スポーツ	1前	2								1		
小計(68科目)	-	-	0	136	0	8	6	2	0	0	14	
SD ブ ロ ゲ	S.D.SeminarA	1前	2								1	
	S.D.SeminarB	1後	2								1	
	地域貢献 I	1後	2								1	
	キャリアデザイン I A	1前	2								1	
	キャリアデザイン I B	1後	2								1	
	ROSE(海外研修) I	1前	2								1	
	基礎ゼミA	2前	2								1	
	基礎ゼミB	2後	2								1	
	地域貢献 II	1後	2								1	
	キャリアデザイン II A	2前	2								1	
	キャリアデザイン II B	2後	2								1	
	インターンシップ	2前	2								1	
インターンシップ(実習)	2前	2								1		
リーダーシップ I A	2前	2								1		



- ・ 1 ページ目には認可時又は届出時と報告年度 2 つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度（令和 6 年度開設であれば令和 5 年度以前）の表は適宜削除してください。  
（2 つの表が 1 ページに表示されるようにしてください。）
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。  
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。  
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に（新）又は（旧）と追記してください。  
（例：記載順）【認可時又は届出時】→【令和 7 年度（新）】→【令和 6 年度（新）】→【令和 5 年度】→【令和 4 年度】→【令和 7 年度（旧）】→【令和 6 年度（旧）】

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・令和6年4月に金谷武明教授が就任のため、「S. D. SeminarA」、「S. D. SeminarB」を担当。
- ・令和6年4月に押久保政彦講師就任のため、「知的財産管理」を担当。
- ・辻本政雄准教授辞任のため、「経済学A」、「経済学B」を小林和馬講師へ、「環境と社会生活」を海上知明講師に変更。
- ・望月洋佑准教授辞任のため、「数学でよみとくビジネス」を山本駒子講師へ変更。
- ・海堂助教辞任のため、「情報リテラシーI (ビジネススキル)」、「情報リテラシーII (AI・データサイエンス)」を寺岡幸二准教授と馬場建至講師に変更し、「情報リテラシーI (ビジネススキル)」、「情報リテラシーII (AI・データサイエンス)」、「情報リテラシーIII (コンテンツ基礎)」、「情報リテラシーIV (コンテンツ応用)」を福島綾一教授に変更。
- ・天野雅貴講師辞任により、「動植物の体のしくみ」を助部秀之講師に変更。
- ・カルロスアルバロベルテリ講師辞任により、「スペイン語IA」、「スペイン語IB」、「スペイン語IIA」、「スペイン語IIB」をベロニカリエスコルナンデス講師に変更。
- ・佐藤一明講師辞任により、「政治学I」、「政治学II」を松本尚子講師に変更。
- ・横訓美教授辞任により、「哲学I」、「哲学II」、「倫理学I」、「倫理学II」を米田祐介講師に、「ドイツ語IA」、「ドイツ語IB」、「ドイツ語IIA」、「ドイツ語IIB」を松本尚子講師に変更。
- ・時間割編成上の理由により、江尻俊章教授が「Webサイト作成A」、「Webサイト作成B」を担当。
- ・時間割編成上の理由により、寺岡幸二准教授が「デジタルビジネス概論」を担当。

【令和7年度】

- ・カリキュラム編成上の理由により「デジタルプラットフォーム入門」、「DX (デジタル・トランスフォーメーション)」を追加し金谷武明教授が担当。
  - ・時間割編成上の理由により「基礎ゼミA」、「基礎ゼミB」、「データサイエンティスト演習IA」、「データサイエンティスト演習IB」を金谷武明教授が担当。
  - ・時間割編成上の理由により「ベンチャービジネス概論」「デジタルビジネス起業論」を江尻俊章教授が担当。
  - ・カリキュラム編成上の理由により「デジタルビジネス・組織論」を廃止し、同学科の経営組織論に統合。
  - ・時間割編成上の理由により「ビジネスフレームワーク演習」、「デジタルサイエンス概論」、「デジタルビジネス・マネジメント特講A」、「デジタルビジネス・マネジメント特講B」を寺岡幸二准教授が担当。
  - ・時間割編成上の理由により「デジタルビジネス・イノベーション概論」、「マーケティング論A」、「マーケティング論B」を千野根陵講師が担当。
  - ・カリキュラム編成上の理由により「デジタルビジネス・マーケティング論」を廃止し、教育の質向上のため春学期にA、秋学期にBとし、通年科目として配置し、馬場建至講師が担当。
  - ・時間割編成上の理由により「デジタルビジネス・マーケティング論A」、「デジタルビジネス・マーケティング論B」、「データマーケティング論」、「デジタルコマース概論」、「スポーツ」を馬場建至講師が担当。
  - ・時間割編成上の理由により「中国語IIA」、「中国語IIB」を神野智久講師が担当。
  - ・令和7年4月に荒木貴之教授が就任のため「人的資源管理論」、「動植物の体のしくみ」を担当。
  - ・校務運営上の理由により「英語IIA」、「英語IIB」をクンデンジャミンウイリアム講師が担当。
  - ・時間割編成上の理由により「グラフィックデザイン演習」を竹中鏡子講師が担当。
  - ・校務運営上の理由により「ソフトウェアプログラミング論」を東海林大嗣講師が担当。
  - ・校務運営上の理由により「ティーブラーニングA」、「ティーブラーニングB」を明関賢太郎講師が担当。
  - ・校務運営上の理由により「プログラミングA」、「プログラミングB」を白勇川恵講師が担当。
  - ・カリキュラム編成上の理由により「デジタルビジネス・AI論」を廃止し、教育の質向上のため春学期にA、秋学期にBとし、通年科目として配置し、米谷仁美講師が担当。
  - ・時間割編成上の理由により「スポーツ論」を門脇正法講師が担当。
  - ・新井隆司教授は、令和7年4月に本学との採用に係る合意に至っていたものの、前年12月に健康上の事情により、やむを得ず本学の着任を辞退
- 担当予定であったデジタルビジネス財務会計論は経営学科に配置している財務会計論も受講可能なので、デジタルビジネス・マネジメント学科在籍学生は経営学科の他学科受講で代替えとする体制に変更した。
- 岡田進一准教授は、令和7年4月に本学との採用に係る合意に至っていたものの、同年1月に配偶者の健康上の理由により、やむを得ず本学

【令和8年度】

【令和9年度】

- (注) 2 (1) -④ 授業科目表に記入された各年度における変更内容 (配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など) を簡潔書きで記入してください。
- 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準 (令和4年10月1日施行) の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合 (例: 「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更) や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合 (例: 「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更) については、記入しないでください。
  - ・不要な年度 (令和6年度開設であれば令和5年度以前) の表は適宜削除してください。
  - ・指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
11 科目	137 科目	0 科目	148 科目	11 科目 [ ]	139 科目 [ +2 ]	0 科目 [ ]	150 科目 [ +2 ]	設置時の計画：必修11科目、選択137科目、自由0科目、 計 (A) 148科目 変更状況：必修11科目、選択139科目、自由0科目、 計150科目 より実践的なスキルを身につけるためAIやDXなど時代のニーズに合

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注)・配当年次に達しているにもかかわらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	デジタルビジネス・組織論	2	2	専門	選択	学科専門科目の経営組織論を受講することで到達目標に達するため
2	デジタルビジネス・財務会計論	2	2	専門	選択	経営学科に配置している財務会計論を受講可能なため
3	デジタルビジネス・マーケティング論	2	2	専門	選択	半期科目の当該科目を廃止し、教育の質向上のため春学期にA、秋学期にBとし、通年科目として配置
4	デジタルビジネス・AI論	2	2	専門	選択	半期科目の当該科目を廃止し、教育の質向上のため春学期にA、秋学期にBとし、通年科目として配置
5						
6						
7						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

学科の特徴や専門性がより分かりやすくなり時代のニーズに合わせた科目を配置することでより実践的なスキルを身につけることができ、デジタルテクノロジーの中でも特にAIは急速に重要性が高まっており、半期で理解を深めるには不十分なため、通年科目に変更した。  
 学生には3月の履修ガイダンス時、および学生掲示板、大学が個々に付与しているメールアドレスに送信することで周知徹底を図っている。

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{4}{148} = \boxed{2.7} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体		
	校舎敷地	93,470.90㎡ <del>86,957.70㎡</del>	7,229㎡	㎡	100,699.93㎡ <del>94,186.73㎡</del>			
	その他	48,136.84㎡	10,000.00㎡	㎡	58,136.84㎡			
	合計	141,607.74㎡ <del>135,094.54㎡</del>	17,229.03㎡	㎡	158,836.77㎡ <del>152,323.57㎡</del>			
(2) 校舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
	50,525.35㎡ <del>48,367.10㎡</del> ( 50,525.35㎡ ) ( <del>48,367.10㎡</del> )	386.00㎡ (386.00㎡)	0㎡ (0㎡)	50,911.35㎡ <del>48,753.10㎡</del> ( 50,911.35㎡ ) ( <del>48,753.10㎡</del> )				
(3) 教室・教員研究室		教 室	36室	教員研究室	45室			
(4) 図書・設備	新設学部等の 名称	図 書		学術雑誌		機械・器具 点	標本 点	
		〔うち外国書〕 冊	電子図書 〔うち外国書〕	〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕			
	経営学部 デジタルビジネス・マ ネジメント学科	56,410 [17,921] <del>(55,010 [17,921])</del> (56,677 [17,839])	262 [ 0 ] <del>( 187 [ 0 ] )</del> ( 224 [ 0 ] )	48 [ 17 ] <del>( 48 [ 17 ] )</del> ( 37 [ 6 ] )	1,000 [ 1,000 ] <del>( 1,000 [ 1,000 ] )</del> ( 1,000 [ 1,000 ] )	29 <del>( 21 )</del> ( 20 )	( )	
	計	56,410 [17,921] <del>(55,010 [17,921])</del> (56,677 [17,839])	262 [ 0 ] <del>( 187 [ 0 ] )</del> ( 224 [ 0 ] )	48 [ 17 ] <del>( 48 [ 17 ] )</del> ( 37 [ 6 ] )	1,000 [ 1,000 ] <del>( 1,000 [ 1,000 ] )</del> ( 1,000 [ 1,000 ] )	29 <del>( 21 )</del> ( 20 )	( )	
(5) スポーツ施設等	スポーツ施設		講堂		厚生補導施設			
	669㎡		0㎡		22㎡			
(6) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	200千円	200千円	図書購入費	5,000千円	5,000千円	5,000千円
	共同研究費等	2,000	2,000千円	設備購入費	10,000千円	0千円	0千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,750千円 <del>1,093千円</del>	1,550千円 <del>993千円</del>	1,550千円 <del>993千円</del>	1,550千円 <del>993千円</del>	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		該当なし						

- (注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)又は(その1の3)に準じて作成してください。  
(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び  
「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA C対象学部等の数値を記入してください。)
- ・「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・高等専門学校については「(3)教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。
  - ・国立大学については「(6)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	日本経済大学							収容定員充足率0.7倍以下の学科数	2	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	2	
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
経済学部	年	人	年次人	人			倍	倍	年度	年度		
経済学科	4	610	—	2440	—	1.08	—	—	—	—	—	
経済学科	4	160	—	640	学士(経済学)	1.28	—	—	昭和43	福岡県太宰府市五条3-11-25		
商学科	4	230	—	920	学士(経済学)	1.08	—	—	平成17	福岡県太宰府市五条3-11-25		
経営法学科	4	—	—	—	学士(経済学)	—	—	—	平成19	福岡県太宰府市五条3-11-25	令和3年度入学生より学生募集停止	
健康スポーツ経営学科	4	220	—	880	学士(健康スポーツ経営学)	0.90	—	—	平成24	同上	令和3年度から入学定員変更(120→220)	
経営学部	4	800	—	3200	—	1.12	—	—	—	—		
経営学科	4	600	—	2640	学士(経営学)	1.17	—	—	平成26	福岡県太宰府市五条3-11-25 東京都渋谷区桜丘町24-5	令和5年度から入学定員変更(290→260) 令和3年度から入学定員変更(490→390) 令和5年度から入学定員変更(390→420) 令和6年度から入学定員変更(420→340)	
グローバルビジネス学科	4	40	—	160	学士(経営学)	1.24	—	—	平成30	福岡県太宰府市五条3-11-25 東京都渋谷区桜丘町24-5		
芸創プロデュース学科	4	80	—	320	学士(経営学)	1.17	—	—	平成30	福岡県太宰府市五条3-11-25 東京都渋谷区桜丘町24-5		
デジタルビジネス・マネジメント学科		80	—	320	学士(経営学)	0.30	—	—	令和6	東京都渋谷区桜丘町24-5		
大学全体	4	1410	—	5640	—	1.10	—	—	—	—		

大学の名称	〇〇短期大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	2	2
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AG期間)	開設年度	所在地	備考			
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
〇〇学科	2	100	-	200	短期大学士(〇〇学)	0.57	-	-	令和3	〇〇県〇〇市〇〇〇〇〇〇〇〇				
●●学科	3	80	-	240	短期大学士(●●学)	1.15	1.14	-	平成27	同上				
◇◇学科	2	60	-	120	短期大学士(◇◇学)	0.44	0.44	-	平成28	同上				
■ ■ 学科	2	50	-	100	短期大学士(■ ■ 学)	1.17	1.16	-	平成30	同上				
大学全体	2 3	210 80	-	660	-	-	-	-	-	-				

大学の名称	〇〇高等専門学校										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	1	1
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AG期間)	開設年度	所在地	備考			
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
〇〇学科	5	100	-	500	準学士(〇〇)	0.63	-	-	令和4	〇〇県〇〇市〇〇〇〇〇〇〇〇				
●●学科	5	200	-	1000	準学士(〇〇)	1.15	1.14	-	平成26	同上				
学校全体	5	300	-	1500	-	-	-	-	-	-				

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)
- なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- 記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
  - 学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
  - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - 本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - 「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
  - 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
  - 「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
  - 「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
  - 「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますので参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

<経営学部 デジタルビジネスマネジメント学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

		【令和6年度】		【令和7年度】		【令和8年度】		【令和9年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	職名
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名		担当授業科目名
その他	講師	金谷 武明 (54) <令和8年4月> 修士(メディアデザイン学)	金谷 武明 (52) <令和6年4月> 修士(メディアデザイン学)	金谷 武明 (53) <令和6年4月> 修士(メディアデザイン学)					
		グラフィックデザイン演習 デジタルコンテンツ演習 I A デジタルコンテンツ演習 I B デジタルコンテンツ演習 II A デジタルコンテンツ演習 II B データサイエンティスト演習 II A データサイエンティスト演習 II B	グラフィックデザイン演習 デジタルコンテンツ演習 I A デジタルコンテンツ演習 I B デジタルコンテンツ演習 II A デジタルコンテンツ演習 II B データサイエンティスト演習 II A データサイエンティスト演習 II B S. D. Seminar A S. D. Seminar B	デジタルコンテンツ演習 I A デジタルコンテンツ演習 I B デジタルコンテンツ演習 II A デジタルコンテンツ演習 II B データサイエンティスト演習 II A データサイエンティスト演習 II B S. D. Seminar A S. D. Seminar B 基礎ゼミ A 基礎ゼミ B デジタルプラットフォーム入門 DX(デジタル・トランスフォーメーション)概論 データサイエンティスト演習 I A					
基(主専)	教授	江尻 俊章 (51) <令和6年4月> 学士(経済学)	江尻 俊章 (51) <令和6年4月> 学士(経済学)	江尻 俊章 (52) <令和6年4月> 学士(経済学)					
		デジタルビジネス概論 デジタルビジネス・イノベーション概論 デジタルビジネス・マーケティング論 データマーケティング論 専門ゼミ II A 専門ゼミ II B 卒業研究	デジタルビジネス・イノベーション概論 デジタルビジネス・マーケティング論 データマーケティング論 専門ゼミ II A 専門ゼミ II B 卒業研究 Webサイト作成A Webサイト作成B	ペンチャービジネス概論 デジタルビジネス起業論 専門ゼミ II A 専門ゼミ II B 卒業研究 Webサイト作成A Webサイト作成B					
基(主専)	教授	今仁 武臣 (51) <令和6年4月> 博士(システムエンジニアリング学)	今仁 武臣 (51) <令和6年4月> 博士(システムエンジニアリング学)	今仁 武臣 (52) <令和6年4月> 博士(システムエンジニアリング学)					
		経営学A 経営学B デジタルビジネス・マネジメント特講A デジタルビジネス・マネジメント特講B デジタルビジネス起業論	経営学A 経営学B デジタルビジネス・マネジメント特講A デジタルビジネス・マネジメント特講B デジタルビジネス起業論	経営学A 経営学B					
基(主専)	教授	新井 隆司 (48) <令和7年4月> 学士(発達科学)	新井 隆司 (48) <令和7年4月> 学士(発達科学)						
		基礎ゼミ A 基礎ゼミ B デジタルビジネス・財務会計論 プレゼンテーション演習	基礎ゼミ A 基礎ゼミ B デジタルビジネス・財務会計論 プレゼンテーション演習						
基(主専)	教授	門田 進一郎 (48) <令和7年4月> 修士(工学)	門田 進一郎 (48) <令和7年4月> 修士(工学)						
		デジタルビジネス・AI論 デジタルコマース概論 空間情報学 専門ゼミ II A 専門ゼミ II B 卒業研究	デジタルビジネス・AI論 デジタルコマース概論 空間情報学 専門ゼミ II A 専門ゼミ II B 卒業研究						
基(主専)	准教授	寺岡 幸二 (49) <令和6年4月> 学士(マネジメント)	寺岡 幸二 (49) <令和6年4月> 学士(マネジメント)	寺岡 幸二 (50) <令和6年4月> 修士(経営管理)					
		S. D. Seminar A S. D. Seminar B デジタルビジネス・組織論 専門ゼミ I A 専門ゼミ I B UI/UX論	デジタルビジネス・組織論 専門ゼミ I A 専門ゼミ I B UI/UX論 デジタルビジネス概論 情報リテラシー I (ビジネススキル) 情報リテラシー II (AI・データサイエンス)	専門ゼミ II A 専門ゼミ II B UI/UX論 デジタルビジネス概論 情報リテラシー I (ビジネススキル) 情報リテラシー II (AI・データサイエンス) デザインシンキング論 ビジネスフレームワーク演習 デジタルサイエンス概論 デジタルビジネス・マネジメント特講 A デジタルビジネス・マネジメント特講 B					
基(主専)	講師	千野根 陵 (39) <令和6年4月> 修士(システムエンジニアリング学)	千野根 陵 (39) <令和6年4月> 修士(システムエンジニアリング学)	千野根 陵 (40) <令和6年4月> 修士(システムエンジニアリング学)					
		専門ゼミ I A 専門ゼミ I B 専門ゼミ II A 専門ゼミ II B 卒業研究	専門ゼミ I A 専門ゼミ I B 専門ゼミ II A 専門ゼミ II B 卒業研究	専門ゼミ I A 専門ゼミ I B 専門ゼミ II A 専門ゼミ II B 卒業研究 デジタルビジネス・イノベーション概論 マーケティング論 A マーケティング論 B					

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
基(専)	講師	渡 藤氏 (45) <令和6年4月> 修士(商学)	プログラミングA プログラミングB ディープラーニングA ディープラーニングB データサイエンティスト演習IA データサイエンティスト演習IB	基(専)	講師	渡 藤氏 (45) <令和6年4月> 修士(商学)	プログラミングA プログラミングB ディープラーニングA ディープラーニングB データサイエンティスト演習IA データサイエンティスト演習IB	基(専)	講師	渡 藤氏 (45) <令和6年4月> 修士(商学)	プログラミングA プログラミングB ディープラーニングA ディープラーニングB データサイエンティスト演習IA データサイエンティスト演習IB	基(専)	講師	渡 藤氏 (45) <令和6年4月> 修士(商学)	プログラミングA プログラミングB ディープラーニングA ディープラーニングB データサイエンティスト演習IA データサイエンティスト演習IB
基(主専)	講師	馬場 建至 (44) <令和6年4月> 学士(経営学)	S.D.SeminarA S.D.SeminarB デジタルサイエンス概論 基礎ゼミA 基礎ゼミB ビジネスフレームワーク演習	基(主専)	講師	馬場 建至 (45) <令和6年4月> 学士(経営学)	デジタルサイエンス概論 基礎ゼミA 基礎ゼミB ビジネスフレームワーク演習 情報リテラシーI(ビジネススキル) 情報リテラシーII(AI・データサイエンス)	基(主専)	講師	馬場 建至 (46) <令和6年4月> 学士(経営学)	基礎ゼミA 基礎ゼミB 情報リテラシーI(ビジネススキル) 情報リテラシーII(AI・データサイエンス) デジタルビジネス・マーケティング論A デジタルビジネス・マーケティング論B データマーケティング論 デジタルコマース概論 スポーツ	基(主専)	講師	馬場 建至 (46) <令和6年4月> 学士(経営学)	基礎ゼミA 基礎ゼミB 情報リテラシーI(ビジネススキル) 情報リテラシーII(AI・データサイエンス) デジタルビジネス・マーケティング論A デジタルビジネス・マーケティング論B データマーケティング論 デジタルコマース概論 スポーツ
基(専他)	教授	赤瀬 朋秀 (58) <令和6年4月> 博士(臨床薬学)	健康科学	基(専他)	教授	赤瀬 朋秀 (58) <令和6年4月> 博士(臨床薬学)	健康科学	基(専他)	教授	赤瀬 朋秀 (59) <令和6年4月> 博士(臨床薬学)	健康科学	基(専他)	教授	赤瀬 朋秀 (59) <令和6年4月> 博士(臨床薬学)	健康科学
基(専他)	教授	李 君在 (52) <令和6年4月> 修士(商学)	韓国語IA 韓国語IB 韓国語IIA 韓国語IIB	基(専他)	教授	李 君在 (52) <令和6年4月> 修士(商学)	韓国語IA 韓国語IB 韓国語IIA 韓国語IIB	基(専他)	教授	李 君在 (53) <令和6年4月> 修士(商学)	韓国語IA 韓国語IB 韓国語IIA 韓国語IIB	基(専他)	教授	李 君在 (53) <令和6年4月> 修士(商学)	韓国語IA 韓国語IB 韓国語IIA 韓国語IIB
基(専他)	教授	エリック ロマン (60) <令和6年4月> 経営学修士	フランス語IA フランス語IB フランス語IIA フランス語IIB 経営戦略論	基(専他)	教授	エリック ロマン (60) <令和6年4月> 経営学修士	フランス語IA フランス語IB フランス語IIA フランス語IIB 経営戦略論	基(専他)	教授	エリック ロマン (61) <令和6年4月> 経営学修士	フランス語IA フランス語IB フランス語IIA フランス語IIB 経営戦略論	基(専他)	教授	エリック ロマン (61) <令和6年4月> 経営学修士	フランス語IA フランス語IB フランス語IIA フランス語IIB 経営戦略論
基(専他)	教授	金森 慶一 (64) <令和6年4月> 商学士	簿記入門 簿記初級	基(専他)	教授	金森 慶一 (64) <令和6年4月> 商学士	簿記入門 簿記初級	基(専他)	教授	金森 慶一 (65) <令和6年4月> 商学士	簿記入門 簿記初級	基(専他)	教授	金森 慶一 (65) <令和6年4月> 商学士	簿記入門 簿記初級
基(専他)	教授	木下 義文 (63) <令和6年4月> 修士(国際情報)	リーダーシップIA リーダーシップIB 経営組織論 リーダーシップIIA リーダーシップIIB	基(専他)	教授	木下 義文 (63) <令和6年4月> 修士(国際情報)	リーダーシップIA リーダーシップIB 経営組織論 リーダーシップIIA リーダーシップIIB	基(専他)	教授	木下 義文 (64) <令和6年4月> 修士(国際情報)	リーダーシップIA リーダーシップIB 経営組織論 リーダーシップIIA リーダーシップIIB	基(専他)	教授	木下 義文 (64) <令和6年4月> 修士(国際情報)	リーダーシップIA リーダーシップIB 経営組織論 リーダーシップIIA リーダーシップIIB
基(専他)	教授	金 在淑 (51) <令和6年4月> 博士(経済学)	韓国語IA 韓国語IB 韓国語IIA 韓国語IIB	基(専他)	教授	金 在淑 (51) <令和6年4月> 博士(経済学)	韓国語IA 韓国語IB 韓国語IIA 韓国語IIB	基(専他)	教授	金 在淑 (52) <令和6年4月> 博士(経済学)	韓国語IA 韓国語IB 韓国語IIA 韓国語IIB	基(専他)	教授	金 在淑 (52) <令和6年4月> 博士(経済学)	韓国語IA 韓国語IB 韓国語IIA 韓国語IIB
基(専他)	教授	古賀 郁人 (58) <令和6年4月> 音声学博士(英国)	ROSE(海外研修I) ROSE(海外研修II) ROSE(海外研修III)	基(専他)	教授	古賀 郁人 (58) <令和6年4月> 音声学博士(英国)	ROSE(海外研修I) ROSE(海外研修II) ROSE(海外研修III)	基(専他)	教授	古賀 郁人 (59) <令和6年4月> 音声学博士(英国)	ROSE(海外研修I) ROSE(海外研修II) ROSE(海外研修III)	基(専他)	教授	古賀 郁人 (59) <令和6年4月> 音声学博士(英国)	ROSE(海外研修I) ROSE(海外研修II) ROSE(海外研修III)
基(専他)	教授	鈴木 俊介 (57) <令和6年4月> 修士(文学)	社会学概論 ソーシャルメディアとコミュニケーション	基(専他)	教授	鈴木 俊介 (57) <令和6年4月> 修士(文学)	社会学概論 ソーシャルメディアとコミュニケーション	基(専他)	教授	鈴木 俊介 (58) <令和6年4月> 修士(文学)	社会学概論 ソーシャルメディアとコミュニケーション	基(専他)	教授	鈴木 俊介 (58) <令和6年4月> 修士(文学)	社会学概論 ソーシャルメディアとコミュニケーション
基(専他)	教授	高橋 文行 (59) <令和6年4月> 博士(情報学)	情報処理論A 情報処理論B	基(専他)	教授	高橋 文行 (59) <令和6年4月> 博士(情報学)	情報処理論A 情報処理論B	基(専他)	教授	高橋 文行 (60) <令和6年4月> 博士(情報学)	情報処理論A 情報処理論B	基(専他)	教授	高橋 文行 (60) <令和6年4月> 博士(情報学)	情報処理論A 情報処理論B
基(専他)	教授	竹田津 知子 (54) <令和6年4月> 文学士	地域貢献I 地域貢献II	基(専他)	教授	竹田津 知子 (54) <令和6年4月> 文学士	地域貢献I 地域貢献II	基(専他)	教授	竹田津 知子 (55) <令和6年4月> 文学士	地域貢献I 地域貢献II	基(専他)	教授	竹田津 知子 (55) <令和6年4月> 文学士	地域貢献I 地域貢献II
		多田 稔 (62) <令和6年4月>				多田 稔 (62) <令和6年4月>				多田 稔 (62) <令和6年4月>				多田 稔 (62) <令和6年4月>	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等			
	基(専他) 教授	担当授業科目名 ～ 博士(経営学)		基(専他) 教授	担当授業科目名 ～ 博士(経営学)		担当授業科目名	基(専他) 教授		担当授業科目名 ～ 博士(経営学)	担当授業科目名		基(専他) 教授	担当授業科目名 ～ 博士(経営学)	担当授業科目名	基(専他) 教授	担当授業科目名 ～ 博士(経営学)
		経営学A 経営学B			経営学A 経営学B												

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
基(専他)	教授	富村 洋一郎 (60) <令和6年4月> 学士(体育学)	スポーツ論	基(専他)	教授	富村 洋一郎 (60) <令和6年4月> 学士(体育学)	スポーツ論								
基(専他)	教授	西村 尚純 (63) <令和6年4月> 修士(経営学)	キャリアデザインⅡA キャリアデザインⅡB	基(専他)	教授	西村 尚純 (63) <令和6年4月> 修士(経営学)	キャリアデザインⅡA キャリアデザインⅡB	基(専他)	教授	西村 尚純 (64) <令和6年4月> 修士(経営学)	キャリアデザインⅡA キャリアデザインⅡB				
基(専他)	教授	福島 綾一 (51) <令和6年4月> 修士(工学)	情報セキュリティ ビッグデータ分析A ビッグデータ分析B	基(専他)	教授	福島 綾一 (51) <令和6年4月> 修士(工学)	情報セキュリティ ビッグデータ分析A ビッグデータ分析B	基(専他)	教授	福島 綾一 (52) <令和6年4月> 修士(工学)	情報リテラシーⅠ(ビジネススキル) 情報リテラシーⅡ(AI・データサイエンス) 情報リテラシーⅢ(コンテンツ基礎) 情報リテラシーⅣ(コンテンツ応用)				
基(専他)	教授	森下 あや子 (58) <令和6年4月> 博士(工学)	文系のための数学	基(専他)	教授	森下 あや子 (58) <令和6年4月> 博士(工学)	文系のための数学	基(専他)	教授	森下 あや子 (59) <令和6年4月> 博士(工学)	文系のための数学				
基(専他)	准教授	金 セイ (43) <令和6年4月> 修士(法学)	くらしと法 日本国憲法	基(専他)	准教授	金 セイ (43) <令和6年4月> 修士(法学)	くらしと法 日本国憲法	基(専他)	准教授	金 セイ (44) <令和6年4月> 修士(法学)	くらしと法 日本国憲法				
基(専他)	准教授	ゴークレ ヘマンギ (40) <令和6年4月> 修士(金融)アメリカ ビジネスイングリッシュⅠA ビジネスイングリッシュⅠB ビジネスイングリッシュⅡA ビジネスイングリッシュⅡB	ビジネスイングリッシュⅠA ビジネスイングリッシュⅠB ビジネスイングリッシュⅡA ビジネスイングリッシュⅡB	基(専他)	准教授	ゴークレ ヘマンギ (40) <令和6年4月> 修士(金融)アメリカ ビジネスイングリッシュⅠA ビジネスイングリッシュⅠB ビジネスイングリッシュⅡA ビジネスイングリッシュⅡB	ビジネスイングリッシュⅠA ビジネスイングリッシュⅠB ビジネスイングリッシュⅡA ビジネスイングリッシュⅡB	基(専他)	准教授	ゴークレ ヘマンギ (40) <令和6年4月> 修士(金融)アメリカ ビジネスイングリッシュⅠA ビジネスイングリッシュⅠB ビジネスイングリッシュⅡA ビジネスイングリッシュⅡB	ビジネスイングリッシュⅠA ビジネスイングリッシュⅠB ビジネスイングリッシュⅡA ビジネスイングリッシュⅡB				
基(専他)	准教授	徐 雪青 (48) <令和6年4月> 博士(比較文化)	英語ⅡA 英語ⅡB 中国語ⅡA 中国語ⅡB	基(専他)	准教授	徐 雪青 (48) <令和6年4月> 博士(比較文化)	英語ⅡA 英語ⅡB 中国語ⅡA 中国語ⅡB								
基(専他)	准教授	辻本 政雄 (54) <令和6年4月> 博士(商学)	環境と社会生活 経済学A 経済学B												
基(専他)	准教授	増田 昌幸 (56) <令和6年4月> 博士(学術)	スポーツ 人的資源管理論 知的財産管理	基(専他)	准教授	増田 昌幸 (56) <令和6年4月> 博士(学術)	スポーツ 人的資源管理論								
基(専他)	准教授	望月 洋佑 (43) <令和6年4月> 修士(教育学)	数学でよみとくビジネス												
基(専他)	准教授	山下 誠矢 (39) <令和6年4月> 修士(経営学)	ビジネスライティング(文章表現)	基(専他)	准教授	山下 誠矢 (39) <令和6年4月> 修士(経営学)	ビジネスライティング(文章表現)	基(専他)	准教授	山下 誠矢 (40) <令和6年4月> 修士(経営学)	ビジネスライティング(文章表現)				
基(専他)	講師	鎌田 雅子 (44) <令和6年4月> 修士(大学経営)	インターンシップ インターンシップ(実習) キャリアデザインⅢA キャリアデザインⅢB	基(専他)	講師	鎌田 雅子 (44) <令和6年4月> 修士(大学経営)	インターンシップ インターンシップ(実習) キャリアデザインⅢA キャリアデザインⅢB	基(専他)	講師	鎌田 雅子 (45) <令和6年4月> 修士(大学経営)	インターンシップ インターンシップ(実習) キャリアデザインⅢA キャリアデザインⅢB				
基(専他)	講師	マクリーン ニカラス (43) <令和6年4月> 学士(カナダ史)カナダ	英語ⅢA 英語ⅢB 英語ⅣA 英語ⅣB	基(専他)	講師	マクリーン ニカラス (43) <令和6年4月> 学士(カナダ史)カナダ	英語ⅢA 英語ⅢB 英語ⅣA 英語ⅣB	基(専他)	講師	マクリーン ニカラス (44) <令和6年4月> 学士(カナダ史)カナダ	英語ⅢA 英語ⅢB 英語ⅣA 英語ⅣB				
基(専他)	助教	海 葉 (39) <令和6年4月> 修士(経営学)	情報リテラシーⅠ(ビジネススキル) 情報リテラシーⅡ(AI・データサイエンス) 情報リテラシーⅢ(コンテンツ基礎) 情報リテラシーⅣ(コンテンツ応用)												

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
その他	落合 康裕 (51) <令和6年4月> 経営学博士	経営管理論A 経営管理論B	その他	落合 康裕 (51) <令和6年4月> 経営学博士	経営管理論A 経営管理論B	その他	落合 康裕 (52) <令和6年4月> 経営学博士							
その他	天野 雅貴 (68) <令和6年4月> 農学博士	動植物の体のしくみ												
その他	岩成 祐樹 (37) <令和7年4月> 修士(通信システム工学)	ソフトウェアプログラミング論	その他	岩成 祐樹 (37) <令和7年4月> 修士(通信システム工学)	ソフトウェアプログラミング論									
その他	海上 知明 (64) <令和6年4月> 博士(経済学)	日本史Ⅰ 日本史Ⅱ	その他	海上 知明 (64) <令和6年4月> 博士(経済学)	日本史Ⅰ 日本史Ⅱ 環境と社会生活	その他	海上 知明 (65) <令和6年4月> 博士(経済学)	日本史Ⅰ 日本史Ⅱ 環境と社会生活						
その他	神野 智久 (38) <令和6年4月> 博士(言語文化学)	中国語ⅠA 中国語ⅠB	その他	神野 智久 (38) <令和6年4月> 博士(言語文化学)	中国語ⅠA 中国語ⅠB	その他	神野 智久 (39) <令和6年4月> 博士(言語文化学)	中国語ⅠA 中国語ⅠB 中国語ⅡA 中国語ⅡB						
その他	カルロス アルバロベルチ (41) <令和6年4月> 修士(言語学)	スペイン語ⅠA スペイン語ⅠB スペイン語ⅡA スペイン語ⅡB												
その他	川上 恭子 (65) <令和6年4月> 学士(経営情報学)	Webサイト作成A Webサイト作成B	その他	川上 恭子 (65) <令和6年4月> 学士(経営情報学)	Webサイト作成A Webサイト作成B 情報リテラシーⅢ(コンテンツ基礎) 情報リテラシーⅣ(コンテンツ応用)	その他	川上 恭子 (66) <令和6年4月> 学士(経営情報学)	Webサイト作成A Webサイト作成B 情報リテラシーⅢ(コンテンツ基礎) 情報リテラシーⅣ(コンテンツ応用)						
その他	佐藤 一明 (81) <令和6年4月> 法学士	政治学Ⅰ 政治学Ⅱ												
その他	輪屋 泰隆 (48) <令和7年4月> 修士(経営管理)	デザインシンキング論	その他	輪屋 泰隆 (48) <令和7年4月> 修士(経営管理)	デザインシンキング論									
その他	宗宮 邦裕 (71) <令和6年4月> 修士(教育学)	西洋史Ⅰ 西洋史Ⅱ 東洋史Ⅰ 東洋史Ⅱ	その他	宗宮 邦裕 (71) <令和6年4月> 修士(教育学)	西洋史Ⅰ 西洋史Ⅱ 東洋史Ⅰ 東洋史Ⅱ	その他	宗宮 邦裕 (72) <令和6年4月> 修士(教育学)	西洋史Ⅰ 西洋史Ⅱ 東洋史Ⅰ 東洋史Ⅱ						
その他	滝本 祥子 (51) <令和6年4月> 修士(教育学)	心のしくみと行動の科学	その他	滝本 祥子 (51) <令和6年4月> 修士(教育学)	心のしくみと行動の科学	その他	滝本 祥子 (52) <令和6年4月> 修士(教育学)	心のしくみと行動の科学						
その他	タンコヴィッチ ユリア (32) <令和6年4月> 修士(哲学)ロシア	ロシア語ⅠA ロシア語ⅠB ロシア語ⅡA ロシア語ⅡB	その他	タンコヴィッチ ユリア (32) <令和6年4月> 修士(哲学)ロシア	ロシア語ⅠA ロシア語ⅠB ロシア語ⅡA ロシア語ⅡB	その他	タンコヴィッチ ユリア (33) <令和6年4月> 修士(哲学)ロシア	ロシア語ⅠA ロシア語ⅠB ロシア語ⅡA ロシア語ⅡB						
その他	曹 恩美 (53) <令和6年4月> 博士(学術)	文学をよむ文化を知る	その他	曹 恩美 (53) <令和6年4月> 博士(学術)	文学をよむ文化を知る 韓国語ⅠA 韓国語ⅠB 韓国語ⅡA 韓国語ⅡB	その他	曹 恩美 (54) <令和6年4月> 博士(学術)	文学をよむ文化を知る 韓国語ⅠA 韓国語ⅠB 韓国語ⅡA 韓国語ⅡB						
その他	出川 清一 (73) <令和6年4月> 教育学士	地理学Ⅰ 地理学Ⅱ	その他	出川 清一 (73) <令和6年4月> 教育学士	地理学Ⅰ 地理学Ⅱ	その他	出川 清一 (74) <令和6年4月> 教育学士	地理学Ⅰ 地理学Ⅱ						
その他	西 結永 (29) <令和7年4月> 学士(文化情報)		その他	西 結永 (29) <令和7年4月> 学士(文化情報)										

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
	他	テキストマイニング論		他	テキストマイニング論									

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	教員区分	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名
	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
その他	野口 智代 (58) <令和6年4月> 学士(教育学)	講師	その他	野口 智代 (58) <令和6年4月> 学士(教育学)	講師	その他	野口 智代 (59) <令和6年4月> 学士(教育学)	講師						
その他	英語 I A 英語 I B		その他	英語 I A 英語 I B		その他	英語 I A 英語 I B							
その他	廣瀬 涼 (33) <令和7年4月> 修士(商学)	講師	その他	廣瀬 涼 (33) <令和7年4月> 修士(商学)	講師	その他								
その他	マーケティング論A マーケティング論B		その他	マーケティング論A マーケティング論B		その他								
その他	三益 康平 (37) <令和6年4月> 博士(経済学)	講師	その他	三益 康平 (37) <令和6年4月> 博士(経済学)	講師	その他								
その他	ベンチャービジネス概論		その他	ベンチャービジネス概論		その他								
その他	森田 光 (58) <令和6年4月> 学士(経済学)	講師	その他	森田 光 (58) <令和6年4月> 学士(経済学)	講師	その他	森田 光 (59) <令和6年4月> 学士(経済学)	講師						
その他	キャリアデザイン I A キャリアデザイン I B		その他	キャリアデザイン I A キャリアデザイン I B		その他	キャリアデザイン I A キャリアデザイン I B							
その他	讀 訓美 (65) <令和6年4月> 文学士	講師												
その他	哲学 I 哲学 II 倫理学 I 倫理学 II ドイツ語 I A ドイツ語 I B ドイツ語 II A ドイツ語 II B													
			その他	米田 祐介 (44) <令和6年4月> 博士(文学)	講師	その他	米田 祐介 (45) <令和6年4月> 博士(文学)	講師						
				哲学 I 哲学 II 倫理学 I 倫理学 II			哲学 I 哲学 II 倫理学 I 倫理学 II							
			その他	松本 尚子 (38) <令和6年4月> 修士(欧州研究)	講師	その他	松本 尚子 (39) <令和6年4月> 修士(欧州研究)	講師						
				ドイツ語 I A ドイツ語 I B ドイツ語 II A ドイツ語 II B 政治学 I 政治学 II			ドイツ語 I A ドイツ語 I B ドイツ語 II A ドイツ語 II B 政治学 I 政治学 II							
			基(専他)	押久保 政彦 (52) <令和8年4月> 博士(技術経営)	講師	基(専他)	押久保 政彦 (53) <令和8年4月> 博士(技術経営)	講師						
				知的財産管理			知的財産管理							
			その他	小林 和馬 (46) <令和6年4月> 博士(経済学)	講師	その他	小林 和馬 (47) <令和6年4月> 博士(経済学)	講師						
				経済学A 経済学B			経済学A 経済学B							
			その他	ペロニカ リエスコ エルナンデス (44) <令和6年4月> ELE修士 ス페인	講師	その他	ペロニカ リエスコ エルナンデス (45) <令和6年4月> ELE修士 ス페인	講師						
				スペイン語 I A スペイン語 I B スペイン語 II A スペイン語 II B			スペイン語 I A スペイン語 I B スペイン語 II A スペイン語 II B							
			その他	山本 純子 (43) <令和6年4月> 実務教育修士(専門職)	講師	その他	山本 純子 (44) <令和6年4月> 実務教育修士(専門職)	講師						
				数字でよみとくビジネス			数字でよみとくビジネス							
			その他	藤部 勇之 (65) <令和6年4月> 学士(理学)	講師									
				動植物の体のしくみ										
			基(専他)	荒木 貴之 (60) <令和7年4月> 博士(情報科学)	教授	基(専他)	荒木 貴之 (60) <令和7年4月> 博士(情報科学)	教授						
				人的資源管理論 動植物の体のしくみ			人的資源管理論 動植物の体のしくみ							
			その他	クンデベンジャミンウイリアム (38) <令和7年4月>	講師	その他	クンデベンジャミンウイリアム (38) <令和7年4月>	講師						
				英語 II A 英語 II B			英語 II A 英語 II B							

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			その他	講師	竹中 綾子 (53) <令和7年4月> 文士									
			その他	講師	東海林 大嗣 (51) <令和7年4月> 修士(造園工学)									
			その他	講師	明國 寛太郎 (49) <令和7年4月> 修士(政教・メディア)									
			その他	講師	白須川 直 (50) <令和7年4月> 修士(理学)									
			その他	講師	米谷 仁美 (40) <令和7年4月> 修士(コンピュータサイエンス)									
			その他	講師	門脇 正法 (58) <令和7年4月> 博士(スポーツ科学)									

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。  
・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)(その2の2)(その2の3)に準じて作成してください。  
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。  
「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員)を含む。)を黒字で記入してください。  
その上で、各年度については、**属可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。  
・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の属年齢**を記入してください。  
・ 記載は、設置認可時又は届出時における「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教員名簿」に記載されている「教員区分」(改正後大学設置基準等の適用以前は「専任教員区分」)の順に記入してください。  
・ 改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以降については、主要授業科目にあたる「担当授業科目名」に下線を引いてください。(大学院、高等専門学校は除く)  
・ 教員がサバティカル等で不在の期間がある場合、その期間(年月日)を上段「学位」の下へ記入してください。  
・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。  
・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

**【令和6年度】**

- ・令和6年4月に金谷武明教授が就任のため、「S. D. Seminar A」、「S. D. Seminar B」を担当。
- ・令和6年4月に押久保政彦講師が就任のため、「知的財産管理」を担当。
- ・辻本政雄准教授辞任のため、「経済学A」、「経済学B」を小林和馬講師へ、「環境と社会生活」を海上知明講師に変更。
- ・望月洋佑准教授辞任のため、「数字でよみとくビジネス」を山本純子講師へ変更。
- ・海堂助教辞任のため、「情報リテラシーⅠ（ビジネススキル）」、「情報リテラシーⅡ（AI・データサイエンス）」を寺岡幸二准教授と馬場建至講師に変更、「情報リテラシーⅠ（ビジネススキル）」、「情報リテラシーⅡ（AI・データサイエンス）」「情報リテラシーⅢ（コンテンツ基礎）」、「情報リテラシーⅣ（コンテンツ応用）」を福島綾一教授に変更。
- ・天野雅貴講師辞任により、「動植物の体のしくみ」を跡部秀之講師に変更。
- ・カルロスアルバロベルテリ講師辞任により、「スペイン語ⅠA」、「スペイン語ⅠB」、「スペイン語ⅡA」、「スペイン語ⅡB」をペロニカリエスコエルナンデス講師に変更。
- ・佐藤一明講師辞任により、「政治学Ⅰ」、「政治学Ⅱ」を松本尚子講師に変更。
- ・續訓美教授辞任により、「哲学Ⅰ」、「哲学Ⅱ」、「倫理学Ⅰ」、「倫理学Ⅱ」を米田祐介講師に、「ドイツ語ⅠA」、「ドイツ語ⅠB」、「ドイツ語ⅡA」、「ドイツ語ⅡB」を松本尚子講師に変更。
- ・時間割編成上の理由により、江尻俊章教授が「Webサイト作成A」、「Webサイト作成B」を担当。

**【令和7年度】**

- ・カリキュラム編成上の理由により「デジタルプラットフォーム入門」、「DX（デジタル・トランスフォーメーション）」を追加し金谷武明教授が担当。
- ・時間割編成上の理由により「基礎ゼミA」、「基礎ゼミB」、「データサイエンティスト演習ⅠA」、「データサイエンティスト演習ⅠB」を金谷武明教授が担当。
- ・時間割編成上の理由により「ベンチャービジネス概論」「デジタルビジネス起業論」を江尻俊章教授が担当。
- ・カリキュラム編成上の理由により「デジタルビジネス・組織論」を廃止し、同学科の経営組織論に統合。
- ・時間割編成上の理由により「ビジネスフレームワーク演習」、「デジタルサイエンス概論」、「デジタルビジネス・マネジメント特講A」、「デジタルビジネス・マネジメント特講B」を寺岡幸二准教授が担当。
- ・時間割編成上の理由により「デジタルビジネス・イノベーション概論」、「マーケティング論A」、「マーケティング論B」を千野根陵講師が担当。
- ・カリキュラム編成上の理由により「デジタルビジネス・マーケティング論」を廃止し、教育の質向上のため春学期にA、秋学期にBとし、通年科目として配置し、馬場建至講師が担当。
- ・時間割編成上の理由により「デジタルビジネス・マーケティング論A」、「デジタルビジネス・マーケティング論B」、「データマーケティング論」、「デジタルコマース概論」、「スポーツ」を馬場建至講師が担当。
- ・時間割編成上の理由により「中国語ⅡA」、「中国語ⅡB」を神野智久講師が担当。
- ・令和7年4月に荒木貴之教授が就任のため「人的資源管理論」、「動植物の体のしくみ」を担当。
- ・校務運営上の理由により「英語ⅡA」、「英語ⅡB」をクンデベンジャミンウィリアム講師が担当。
- ・時間割編成上の理由により「グラフィックデザイン演習」を竹中綾子講師が担当。
- ・校務運営上の理由により「ソフトウェアプログラミング論」を東海林大嗣講師が担当。
- ・校務運営上の理由により「ディープラーニングA」、「ディープラーニングB」を明関賢太郎講師が担当。
- ・校務運営上の理由により「プログラミングA」、「プログラミングB」を白男川恵講師が担当。
- ・カリキュラム編成上の理由により「デジタルビジネス・AI論」を廃止し、教育の質向上のため春学期にA、秋学期にBとし、通年科目として配置し、米谷仁美講師が担当。
- ・時間割編成上の理由により「スポーツ論」を門脇正法講師が担当。
- ・新井隆司教授は、令和7年4月に本学との採用に係る合意に至っていたものの、前年12月に健康上の事情により、やむを得ず本学への着任を辞退  
担当予定であったデジタルビジネス財務会計論は経営学科に配置している財務会計論も受講可能なので、デジタルビジネス・マネジメント学科在籍学生は経営学科の他学

**【令和8年度】**

- 

**【令和9年度】**

- 

(注) 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ **認可で設置された学部等の基幹（専任）教員を変更する場合は**、当該基幹（専任）教員が授業を開始する前に必ず「基幹（専任）教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。

**原則としてA C教員審査を受けずに基幹（専任）教員として授業等を担当することは出来ません。**

なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、A C教員審査を受審する必要はない扱いとしています。（改正後大学設置基準等の適用にあたり、「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、A C教員審査の受審を求めている事由が発生する場合は、A C教員審査を受審する必要が

- ・ A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- ・ 設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 基幹教員数等

(注)・計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項（短期大学設置基準第三条の二）に基づき「連係協力学部等（連係協力学科）」の基幹教員数について、「(2) -① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2) -② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2) -① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数（α）	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教員研究に従事する必要基幹教員数（α）の4分の3以上
8 名	4 名	6 名

(注)・大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。  
 ・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2) -② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画							現在（報告時）の状況						
教授	准教授	講師	助教	計（A）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（A'）	助手（A''）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（B'）	助手（B''）
4	1	3	0	8	8	0	3	1	3	0	7	7	0
(2)	(3)	(3)	(0)	(8)	(8)	(0)							
現在（報告時）の完成年度時の状況							現在（報告時）の完成年度時の計画						
教授	准教授	講師	助教	計（C）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（C'）	助手（C''）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（D'）	助手（D''）
4	1	3	0	8	8	0	4	1	3	0	8	8	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。

高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」として記入してください。

なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準（令和4年10月1日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画（改正前大学設置基準等）」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。

また、「計（A）」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（A'）」欄には「-」を記入してください。

・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、**認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、

[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

・「**現在（報告時）の完成年度時の計画**」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) -③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
教授：65歳 准教授、講師：60歳	0 名	0 名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、

「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) 一④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{8}{8} = \boxed{100} \%$$

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{8}{8} = \boxed{100} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{7} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 一⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C'')}}{\text{設置時の計画(A'')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹（専任）教員辞任等の理由

(3) - ① 基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	教授	新井 隆司		必修	基礎ゼミA	金谷武明	健康上の理由で辞退			
				必修	基礎ゼミB	金谷武明				
2	教授	門田 進一郎		選択	デジタルビジネス・AI論A	米谷 仁美	一身上の都合により辞退			
				選択	デジタルビジネス・AI論B	米谷 仁美				
				選択	デジタルコマース概論	馬場 建至				
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
2	人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	3	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	5	科目	計	5	科目	計	0	科目

(注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。

就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。

・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(3) - ② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計（F）					後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。

（学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。）

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。

- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)								
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)			②の合計数 (b)			③の合計数 (c)		
2 人	必修	2 科目	必修	2 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	
	選択	3 科目	選択	3 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	
	計	5 科目	計	5 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{2}{8} = 25\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和6年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

2 人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。

・令和7年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注) ・ 定年により退職した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「大学の所見」 後任者の補充を行い、学生への影響が出ないように対応した。</p> <p>「学生への周知方法」 履修登録（時間割策定）前に対応が完了しており、特に混乱はない。</p>
---

(注) ・ 上記（3）の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
設置計画履行状況 調査結果 (令和6年度)	<p>・教育内容の充実等を通じ、収容定員未充足の改善に努めること。 (経営学部デジタルビジネス・マネジメント学科)</p> <p>【A C】指 摘事項 (改 善)</p>	<p>令和6年度の入学者は13名(入学定員充足率0.16倍)であったが、令和7年度は入学者39名(入学定員充足率0.48倍)と、定員充足には及ばなかったが入学者数は増加する傾向である。この背景として、昨年度の反省を踏まえ、デジタルビジネス・マネジメント学科に特化した特別オープンキャンパスの開催、高等学校訪問日程の追加、WEBを活用した広報の充実など、対面、オンライン問わず、ありとあらゆる媒体を通じてデジタルビジネスに関心を持つ生徒・学校を対象に重点指向した結果によるものと考えている。令和8年度は定員充足を目指し、さらなる対策を講じて臨む予定である。</p>	履行中

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。

**【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】**

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

**【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】**

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6) (7)」と記載してください。

**【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】**

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<経営学部 デジタルビジネス・マネジメント学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 施設・設備	学生の修学環境を改善するため、プロジェクター×4 P C×3、大型モニター×1を増設した。

(注)・1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制	
a 委員会の設置状況	
FD・SD委員会	
b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)	
必要に応じて開催。構成員:教員6名、職員3名	
c 委員会の審議事項等	
・FD・SD推進のための企画及び実施に関すること。	
・FD・SDに関する報告書等の作成に関すること。	
・FD・SDに関する調査・研究に関すること。	
・教育内容及び教育環境の改善に関すること。	
・教育技法の改善・向上のための具体的活動に関すること。	
・学生による授業評価の実施・結果公表と授業改善に関すること。	
・教育職員及び事務職員の大学運営についての資質開発を図るための組織的な研修に関すること。	
・その他、学長の諮問する事項等。	
・その他、FDSDの推進及び委員会に関すること。	
② 実施状況	
a 実施内容	
・授業方法についての研究	
・学生による授業評価アンケートの企画・実施	
・教員による授業参観の企画・実施	
・学生指導要領の検討、特に中途退学防止について	
b 実施方法	
・授業評価アンケートの企画・実施及び評価	
c 開催状況(教員の参加状況含む)	
・中途防止、SARTRASの報告、履修規程の変更、PEAKアップ データ情報・学生情報入力について、情報セキュリティシ ステムの稼働、学内設備予約のデジタル化(OUTLOOK化)、留 学生の学籍管理、目標管理シートについて、等	R6.04.19 福岡Cとの合同研修
・目標管理シート	R6.05.31 教育職員37名
・学生の除籍、退学防止に関する対応策	R6.06.28 教育職員30名、事務職員23名
・ハラスメント防止研修	
・「障害者差別解消法」に関する研修	R6.07.12 教育職員25名、事務職員21名、他C:57名
・春学期授業評価アンケートの実施	R6.07.15~26 全授業対象
・学内研究発表会	R6.08.01 教育職員26名、事務職員9名
・留学プログラムについて	
・AED操作、STATIO避難訓練	R6.08.08 教育職員22名、事務職員23名
・公開授業	R6.11.01~30 全授業対象
・秋学期授業評価アンケートの実施	R6.12.16~R7.01.14 全授業対象
d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況	
・授業評価アンケート結果を各教員に配布し、授業の改善策、授業方法の工夫等を記入させた後、回収	
・学生の視点に立った授業運営に努めるべく教員の意識向上	

- ・ 学科所属教員の学科運営に関する意識の共有

<p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 実施している。春学期、秋学期とも14～15週目に実施。</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 授業アンケート結果（改善策を記入済）を簿冊にして大学図書館に設置するとともに、大学ホームページ上にアンケート結果を情報公開授業。</p>
--

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

<p>① 体制</p> <p>a 委員会の設置状況 該当なし</p> <p>b 委員会の開催状況（回数や開催日など） 該当なし</p> <p>c 委員会の審議事項等 該当なし</p> <p>d その他 該当なし</p> <p>② 審議状況</p> <p>a 審議した内容 該当なし</p> <p>b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況 該当なし</p> <p>c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況 該当なし</p>
---

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

##### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

経営学部デジタルビジネス・マネジメント学科は、これまで経営学部が担ってきた教育・人材育成上の役割や特色をより明確化し、経営学に立脚した学問体系、実務中心の教育体制を構築するとともに、近年進化の著しいデジタル分野及びデジタルを活用した経営やビジネスなど、デジタル進化の動向及びデジタルを活用したビジネスに精通し、高度な専門性を有しながら、広い視野に立ち、経営事象を識別・判断できる人材を育成し、経営についてより充実した教育研究活動を行うことを目的に、令和6年4月に東京渋谷キャンパスに開設したところである。

令和6年度の入学者は13名（入学定員充足率0.16倍）、令和7年度の入学者は39名（入学定員充足率0.48倍）となっており、入学者数は徐々に増加する傾向であるが、いずれの年度も入学定員80名を下回っているのが現状である。令和6年度に関しては学生募集の開始が令和5年10月からであったことが主な要因だと考えられる一方、令和7年度は広報の期間が十分にあったにもかかわらず、高等学校への認知度を上げる施策が十分ではなかったという反省は否めない所である。令和7年度の募集は、同学科教員のみならず日本経済大学東京渋谷キャンパスに所属する全教職員による広報チームの編成、全教職員を対象としたデジタルビジネス・マネジメント学科の1年の取り組みに関する周知、特別オープンキャンパスの開催と学校訪問日程を追加し、ありとあらゆる媒体を通じてデジタルビジネスに関心を持つ生徒・学校を対象に重点的に実施した結果によるものと考えている。

令和8年度は、定員充足の課題を全学で共有・認識し、年間を通じた全教員・職員の広報募集活動に加えて、同学科教員チームによる学科訴求の取り組みをさらに強化すべく、同学科に入学実績のある高等学校を重点校に位置付ける他、DXハイスクールを始めとする高等学校を選定して個別に訪問するほか、資料請求者やオープンキャンパス参加者の出身校へも追加訪問し、学科説明と模擬授業を行うことで魅力を訴求するなど、昨年度以上に意欲を以って募集広報活動に尽力している。オープンキャンパスは開催回数も昨年度の16回（うち、デジタルビジネス・マネジメント学科に特化した特別オープンキャンパス：1回）から21回（同・3回）に増加させ（予定を含む）、すべてのオープンキャンパスにおいてデジタルビジネス・マネジメント学科の説明を15分実施している。このように、高校生の目に触れる機会を積極的に増やすと同時に、ホームページ上で同学科の取り組みを適時紹介するなど、同学科の魅力について積極的に発信すると同時に、デジタルビジネス・マネジメント学科に特化した個別面談の機会では、同学科の教員を総動員して懇切丁寧な説明に努めているところである。学校向け出張講義にも、同学科設立の趣旨・目的を踏まえたキャリア教育系の授業を新設して広く案内・実施している。

以上の取り組みをホームページ・各種ウェブメディア、学校訪問、オープンキャンパス等を通じて強く発信していくことで、認知度の更なる向上を図り、収容定員の充足に向けて努力していく。なお、令和8年度には基幹教員が8名必要

##### ② 自己点検・評価報告書

###### a 公表（予定）時期

・令和8年3月 公表（予定）

###### b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和8年3月を予定）

##### ③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

・令和6年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受審し、適合の通知を受けている。

(注)・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書（令和7年度）</p> <p>a 公表予定の有無 [ 有 ]</p> <p>≪ aで「有」の場合≫</p> <p>b 公表（予定）時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 ]</p> <p>c 公表方法 [ ウェブサイトへの掲載 ]</p> <p>≪ aで公表「無」の場合≫</p> <p>d 公表しない理由 [ ]</p>
---

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。